

令和2年度事業報告

当財団の公益事業である「国際経済交流推進事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中国現地での情報交換会開催などは見送りや中止としたが、県や「山口県日中経済交流促進協会」等との連携のもと、長年培ってきたネットワーク等を活かしながら、県内中小企業の中国における海外ビジネス活動への支援の実施や、感染予防を講じて貿易実務セミナーを開催するなど、引き続き国際経済交流の推進に取り組んだ。

国際貿易ビルについては、テナントの入退去等があったものの、高い入居率を維持しつつ、効率的かつ安全・安心な管理運営に努めた。

また、山口県貿易ビルは、令和3年3月31日をもって全入居者の退去が完了した。

一方、「海峡メッセ下関」の指定管理者として実施している施設の運営管理事業（指定管理事業）は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。

収支面では、県から当該ウイルスに起因する減収分に対しての支援を受け、一応の安定収支は確保できたものの、運営面では、貸館施設及びタワーにおける51日間の休館措置（令和2年4月4日～5月24日）や、年明けからも時短営業・県外から利用制限などにより稼働率及びタワー入場者数は大幅に減少した。

こうした中、コロナ禍における「新たな日常」への対応として「タワー入退場ゲートシステム設置」など、県からの受託事業により新たな設備投資を実施した。

なお、令和3年度からの第4期指定管理者に引き続き選定された。

1 国際経済交流の推進

県、下関市、ジェトロ山口等の関係機関と連携し、中国を中心とした国際経済交流の推進に取り組むとともに、県内中小企業の海外ビジネス活動をサポートすることに努めた。

（1）貿易相談・海外ビジネス支援

ア 貿易相談等

輸出入についての市場調査及び海外への販路開拓に関する相談に応じ、県内企業の具体的なビジネスを支援した。

<相談内容>

内 容	令和２年度	前年度
輸出に関する相談	４６件	６５件
輸入に関する相談	６件	１２件
企業紹介	２件	８件
その他（翻訳・通訳、医療観光、技術供与など）	１８件	２５件
合 計	７２件	１１０件

イ 輸出入展示商談会開催の支援

山口県等で構成する「貿易商談会等実行委員会」にメンバーとして参画し、「山口県・山東省経済貿易商談会」の開催を支援する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立たず、開催は見送りとなった。

ウ 中国等における中小企業の海外ビジネス展開への支援

県内企業の中国市場への売り込みにおいて、ビジネスパートナーの紹介、個別相談等の具体的な案件の支援を行うとともに、「沖縄大交易会」のオンラインによる商談会に参加した企業に対し、「下関地域商社」のメンバーとして個別支援を実施した。

（２）貿易等に携わる人材の育成・確保支援

県内の貿易関係業務に従事する者を対象として、貿易に関する基礎的な知識の習得や貿易実務の能力向上を図るため、レベル別の「貿易実務セミナー」を、例年より大きな会場を使用するなど、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じて開催した。

○ 貿易実務セミナーの開催

- ・ 基礎編（貿易実務の経験１年未満の者および未経験者）
日時：令和２年８月１２日（水） ／ 参加者：２２名
- ・ 実践編 輸出（貿易実務の経験原則１年以上の者）
日時：令和２年８月２５日（火） ／ 参加者：１９名
- ・ 実践編 輸入（貿易実務の経験原則１年以上の者）
日時：令和２年９月８日（火） ／ 参加者：１４名
- ・ 貿易実務書類（英語）の解説（貿易実務の経験原則１年以上の者）
日時：令和２年９月２９日（火） ／ 参加者：８名

（３）貿易に関する情報収集・提供

県内企業等の貿易促進や海外取引機会の拡大を支援するため、情報の収集や提供に努めた。

ア 海外進出企業情報交換会の開催

山口県日中経済交流促進協会と共催により、山東省進出の山口県企業と中国政府関係機関との情報交換会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

イ 情報誌「メッセ海外通信」の発行及びＨＰを活用した情報提供

山口県日中経済交流促進協会、ジェトロ山口を含めた３団体共同による情報誌「メッセ海外通信」を年４回発行するとともに、財団ホームページに掲載し、ビジネスを中心とした海外情報の提供を行った。

ウ 貿易関係機関・団体との連携

県内中小企業への支援を充実するため、貿易関係機関団体情報交換会を開催するほか、「山口県海外ビジネス研究会」「やまぐち産業振興財団」等の貿易関係機関・団体との連携を図った。なお、貿易実務セミナーの後援団体として「やまぐち産業振興財団」が新たに加わった。

また、下関地域商社に参画し、地域の中小企業の海外展開事業の取組に対する協力・支援を行った。

２ 産業交流の推進

国際経済交流の拠点機能を高めるため、国際化の進展と地域産業の振興に取り組んだ。

（１）地域との連携

地元大学生に語学実習の場を提供し、国際的人材の育成を支援する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止した。

（２）海外ネットワーク等を活用した誘致・誘客の推進

蓄積した海外ネットワークを活用しながら、タワーをＰＲする等の誘客を推進する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

なお、ジェトロ山口とも連携し貿易振興企業への支援を実施した。

３ 国際貿易ビル等の管理運営

国際貿易ビルの国際経済交流の拠点施設としての機能充実を図るとともに、貿易振興事業に資するための財源の確保や経費節減を行うなど、国際貿易ビル及び山口県貿易ビルの適切な管理運営に努めた。

（１）国際貿易ビルの管理運営

既に、築２０年を超え、各設備の耐用年数も超過している現状で、大規模改修として国

際貿易ビルを含む海峡メッセ下関全体の中央監視装置の改修工事を、平成２９年度から長期的に実施し、今年度で完了した。

また、テナントの退去・減室はあったものの、「持続化給付金」の申請会場として貸室の利用や、新たに下関市立大学等の入居もあり、引き続き高い入居率を維持している。

<国際貿易ビルの入居状況>

(令和３年３月３１日現在)

区 分	貸室数	入居室数	主 な テ ナ ン ト
５階～７階	２８	２５	山東省事務所、ジェトロ山口、NHK、YAB、三井住友海上火災保険(株)、日研トータルソーシング(株)、(株)クマヒラ、下関市立大学、(株)J E T
２階～４階	８	８	ワイエム証券(株)、レストラン
そ の 他	６	６	インフォメーションセンター
計	４２	３９	入居率 ９４．８％
前 年 度	４２	３８	入居率 ９３．５％

(２) 山口県貿易ビルの管理運営

当ビルは築７０年経ち、老朽化が著しく、耐震性も不足していることから、令和３年度の処分に向けて条件整備に努めるとともに、入居者の安全性や居住性を維持しながら、適切な管理運営に努めた。

なお、令和３年３月３１日をもって全入居者の退去が完了した。

<山口県貿易ビルの入居状況>

(令和３年３月３１日現在)

区 分	貸室数	入居室数	主 な テ ナ ン ト
１階～５階	５０	０	(全入居者退去)
計	５０	０	入居率 ０．０％
前 年 度	５０	１５	入居率 ３８．２％

４ 駐車場等の管理運営

国際貿易ビルの入居者用駐車場の適正な管理運営を行った。

５ 国際総合センターの管理運営（指定管理事業）

県有施設の指定管理者として、特にコロナ禍における施設利用者への安全・安心な施設環境の提供に留意した管理運営に努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、国際会議場を除いた全貸会場で稼働

率は低下し、タワーは入場者数が半減するなど、厳しい運営状況となった。

(※「令和2年度主要コンベンション開催実績一覧」は別表のとおり)

(1) コンベンション

コンベンション誘致の推進

県外での誘致活動は自粛したが、県内誘致活動として下関観光コンベンション協会とともに県内大学を訪問し、当館が実施している新型コロナウイルスへの感染予防対策等を説明し、今後の学会等の誘致に努めた。

＜令和2年度コンベンション施設の利用状況＞

(令和3年3月31日現在)

区 分	見本市会場	イベントホール	海峡ホール	国際会議場	会議室
利用件数	21件	6件	26件	30件	701件
利用延べ日数	53日	44日	89日	112日	813日
稼働率	17.3%	14.3%	28.0%	36.5%	44.1%
前年度	28.4%	27.0%	30.6%	28.4%	58.5%

(2) タワー

ア コロナ禍におけるイベントの実施と効果的な広報

タワーイベント及びPRは、中止及び規模の縮小をせざるを得ない状況であったが、令和3年度は海峡メッセ下関が開館25周年を迎えることから、地元下関市をはじめ、近隣地域への感謝企画として下記のイベントを実施し、タワーの集客に努めた。

○『プレ25周年記念事業～地域に感謝の3か月～』

開催期間：令和2年8月1日（土）～11月1日（日）

実施内容：タワー入場料半額（8月1日（土）～11月1日（日））

「ゆめたん」の出演（9月の毎週日曜日）

「てっぺんツアー」（10月11日（日））

「こすおん@海峡ゆめタワー（コスプレ大会）」（10月18日（日））

また、恒例の「タワー階段のぼり」も、下関市が主催する「グルメフェス」と同日開催したことで、参加者数は過去最多となった。

なお、これらイベント情報の発信は、TVやラジオ、新聞などマスコミを活用した広報宣伝を例年より縮小し、ホームページやフェイスブック、インスタグラム等のSNSを中心に行った。

イ 「ゆめたん」を活用したタワーPR

他団体等からの出演依頼や外部イベントへの参加はなかったが、新たな「ゆめたん」

に関するタワーグッズの開発・提案を行い、令和３年度は商品化及び販売を開始する。

ウ 関係機関・団体等とのネットワーク強化

県や下関市はもとより「モアしものせき委員会」や「エキマチ下関推進協議会」等の各種関係団体との連携した取組を実施した。

特に、県ぶちうまやまぐち推進課や下関市園芸センターとも連携し、「やまぐちマンスリーフラワー」や、菊と朝顔の展示を実施した。

期 間	内 容
6/27～7/10	「バラ・リンドウ」展示
8/8～8/21	「菊」展示
10/9～10/23	「山口県オリジナルユリ プチソレイユ」展示
12/24～12/27	「バラ」展示（クリスマス用）
2/13～2/18	「カーネーション」展示（バレンタイン用）

なお、例年実施しているランドマークの特性を生かしたカラーライトアップでは、コロナ禍における医療従事者への感謝として、８月１日から１０月３１日までの間、タワーをブルーでライトアップするなど、各種啓発活動にも協力した。

実 施 日	啓 発 活 動	カラー
4/2	世界自閉症デー	ブルー
4/27～5/6. 16. 23. 30. 31 8/1～10/31	新型コロナウイルス感染症 医療従事者感謝	ブルー
5/7～5/9	世界赤十字運動月間	レッド
6/20	世界難民の日	ブルー
9/21	世界アルツハイマーデー	オレンジ
9/30	「展望の日」前日ライトアップ	レッド
10/25～10/27	やまぐちブルーライトアッププロジェクト	ブルー
11/2. 8. 15. 22. 29	児童虐待防止推進月間	オレンジ
11/12	女性に対する暴力をなくす運動	パープル
11/14	世界糖尿病デーやまぐち	ブルー
3/7～3/9	世界緑内障週間	グリーン
3/11	世界腎臓病デー	グリーン
3/26	世界てんかんの日	パープル

エ インバウンド誘致活動

現地旅行エージェントへの訪問営業は中止したが、コロナ禍収束後に備え、下関市港湾局が実施したクルーズセミナーに参加し、現状及び今後についての情報収集を行った。

オ 館内レストランとの連携強化

「プレ25周年事業」期間中の来場者プレゼントとしてドリンクチケットを提供していただくなど、双方の来場者増加のため連携を行った。

<タワーの利用状況>

(令和3年3月31日現在)

区分	入場者数	共通チケット		
		海響館	門司ロタワー	観覧車
平成29年度	84,756人	2,077人	108人	570人
平成30年度	79,137人	1,797人	208人	464人
令和元年度	71,802人	1,571人	240人	492人
令和2年度	32,538人	667人	13人	35人
前年度比	45.3%	42.5%	5.4%	7.1%

(3) 安全・安心な施設環境に留意した運営

ア 施設利用者への安全・安心な施設環境の提供

業種ごとに示された「感染拡大予防ガイドライン」に沿って、次の対応を実施し、利用者の安全・安心な施設環境に留意した運営を行った。

- 「3密」回避のため、各貸室の収容人数を制限した貸出
- タワーにおけるエレベーター及び展望室内の人数制限
- 貸室内の備品及びタワー内の定期的な除菌作業
- 迅速かつ的確に対応するための財団及び防災センターとの連絡調整体制の整備

イ 「新たな日常」対応設備及びシステム等の導入

感染拡大予防対策や業務の効率化を進めるため、県からの受託事業などにより次の機器整備事業を実施した。

- タワー入退場ゲートシステム等の導入（受託事業）
 - ・ 内 容：入退場ゲートシステム（自動改札機）及び券売機の設置
 - ・ 執行額：8,201千円
- 第2駐車場管理システムの導入（受託事業）
 - ・ 内 容：駐車場管理システムの導入、監視カメラ及び照明設備設置

・執行額：14,621千円

○ トイレ洗面所の自動水栓化（受託事業／財団テナント事業）

・内 容：トイレ洗面所の蛇口を自動水栓化（非接触タイプに更新）

・執行額：8,656千円

○ タワーAR（拡張現実）アプリによる案内システムの導入（県実施事業）

・内 容：AR（拡張現実）案内システムの導入、館内インターネット環境構築

※ 本事業は県実施事業のため、財団は仕様書作成やシステムのカスタマイズについて支援するとともに、館内インターネット環境を構築した。

ウ 施設の維持管理

施設利用者に対し、安全・安心な施設環境を提供するため、万全な危機管理体制を構築し、効率的かつ適切な維持管理を実施した。

また、県と協議して、平成29年度から4か年計画で取り組んだ「中央監視装置改修工事」は予定どおり完了した。

エ 職員の資質向上

質の高いお客様サービスを提供するため、下関観光コンベンション協会が開催する観光関係者を対象とした「おもてなし講習会」に職員が参加した。

6 賛助会員

国際産業交流の推進など当財団の目的に賛同し、これを援助する団体・企業等で構成されている。

<賛助会員の加入状況>

（令和3年3月31日現在）

業 種	会 員 数	口 数
貿易関係業者・団体	39	44
市 町	7	7
商工会議所・商工会、同各連合会	12	12
計	58	63

※ 賛助会費：1口 1万円

(別表)

令和２年度 主要コンベンション開催実績一覧

開催日	催事名称	規模	備考
4/24～25	将来世代応援知事同盟サミット	全国	中止
5/29～30	日本感染管理ネットワーク学会	全国	中止
6/6～7	山口県臨床外科学会	県内	中止
6/10～11	全国旅館生活衛生同業組合連合会 全国大会	全国	中止
7/2～3	一般社団法人日本水族館協会 通常総会	全国	中止
8/27～28	日本比較免疫学会	全国	次年度延期
9/17～18	老人保健施設協議会 中国大会	中国地区	次年度延期
10/15～16	中国地区公立高等学校事務職員研究大会	中国地区	中止
11/2～3	日本小児歯科学会 中国四国地方会	中四国地区	中止
11/21～22	日本ロボットリハビリテーション・ケア研究大会	全国	次年度延期
12/5	日本超音波検査学会 中国地方会	中国地区	次年度延期

※ 新型コロナウイルス感染拡大のため、令和２年度に開催を予定されていた主要コンベンションの全てがキャンセルとなった。